



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月30日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
 コード番号 3496 URL https://azoom.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,328	31.2	253	470.4	252	471.9	158	581.2
2020年9月期第2四半期	1,774	—	44	—	44	—	23	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 159百万円 (614.5%) 2020年9月期第2四半期 22百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	55.08	53.24
2020年9月期第2四半期	7.98	7.80

(注) 1 2020年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,091	1,120	53.2
2020年9月期	1,890	953	50.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 1,113百万円 2020年9月期 950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	25.8	450	100.5	450	101.6	288	106.5	100.09

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	2,940,400株	2020年9月期	2,922,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	44,898株	2020年9月期	44,872株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	2,885,325株	2020年9月期2Q	2,921,883株

(注) 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、前連結会計年度末にかけて落ち着きを見せた新型コロナウイルス感染症の感染拡大が再び拡大傾向に転じるなど、依然として厳しい状況が続いております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されております。しかしながら新型コロナウイルス感染症の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの経営環境としましては、遊休不動産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、従来は店舗型の不動産仲業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきており、月極駐車場の問い合わせ件数の増加要因となりました。また、ビジュアライゼーション事業においては、2020年2月以降において新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、宿泊施設や商業施設の不動産開発が停滞し、当社グループが提供する不動産画像に対する需要が低下している状況にありましたが、2020年7月頃から経済活動が再開したこともあり徐々に需要が回復してきておりました。2021年1月には再び緊急事態宣言が発令されたものの、1回目の同宣言下に比べれば、その影響は限定的でありました。2021年3月には緊急事態宣言は解除され、ワクチン接種が始まったことで感染拡大の収束に向けた明るい兆しもありますが、一定程度の影響を継続して受けております。これらの影響を含め、依然として新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明ではありますが、当社グループへの影響については今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,328,270千円（前年同期比31.2%増）、営業利益は253,743千円（前年同期比470.4%増）、経常利益は252,758千円（前年同期比471.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は158,910千円（前年同期比581.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休不動産活用事業

遊休不動産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やリモート環境下での営業活動推進に努め、カーパーキングへの問い合わせ件数、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は119,094件となり、当第2四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は12,716台、サブリース台数（稼働台数）は11,755台となりました。また、貸し会議室運営サポートを提供するWEB予約システム「スマート会議室」においては、2020年7月にランディングページを改修したこと及び広告宣伝活動の効果向上に注力した結果、問い合わせ件数及び成約件数が増加傾向にあります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,270,203千円（前年同期比30.6%増）、セグメント利益は259,184千円（前年同期比381.0%増）となりました。

② ビジュアライゼーション事業

ビジュアライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、その販売を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響は依然として一定程度受けているものの、VR技術を用いて顧客のリモート環境下での事業活動の幅を広げるといった現在の状況に応じたサービスの展開を始め、事業規模は徐々に拡大しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58,066千円（前年同期比62.2%増）、セグメント損失は5,441千円（前年同期はセグメント損失9,401千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,572,807千円となり前連結会計年度末に比べて175,896千円増加しております。その主な要因は、業績が堅調に推移したことに伴い現金及び預金が126,837千円増加したこと、ならびに、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が38,747千円増加したことによるものであります。固定資産は518,447千円となり、前連結会計年度末に比べて24,720千円増加となっております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて200,617千円増加し、2,091,255千円となっております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は418,179千円となり、前連結会計年度末に比べて2,518千円増加しております。固定負債は552,901千円となり、前連結会計年度末に比べて31,414千円増加しました。その主な要因は、稼働台数の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの預り保証金が49,882千円増加したことによるものであります。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて33,932千円増加し、971,081千円となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,120,174千円となり、前連結会計年度末に比べて166,684千円増加しております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を158,910千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末は50.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,204,998千円となり、前連結会計年度末から126,837千円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は181,593千円（前年同期は111,972千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益252,758千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は39,426千円（前年同期は32,489千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出28,914千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は15,818千円（前年同期は12,304千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出18,336千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2020年11月9日の「2020年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結業績予想との間に差異が生じております。詳細につきましては、本日公表の「2021年9月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,078,160	1,204,998
売掛金	67,008	73,554
たな卸資産	373	724
前払費用	245,535	284,282
その他	8,547	12,206
貸倒引当金	△2,714	△2,959
流動資産合計	1,396,911	1,572,807
固定資産		
有形固定資産	88,542	84,565
無形固定資産		
のれん	70,837	66,902
その他	66,169	86,072
無形固定資産合計	137,006	152,974
投資その他の資産		
敷金	108,977	109,027
差入保証金	99,409	105,221
その他	63,238	71,426
貸倒引当金	△3,448	△4,768
投資その他の資産合計	268,177	280,907
固定資産合計	493,727	518,447
資産合計	1,890,638	2,091,255
負債の部		
流動負債		
未払金	46,284	48,780
未払法人税等	87,317	105,162
前受収益	93,772	117,144
賞与引当金	19,019	25,656
1年内返済予定の長期借入金	36,672	36,672
その他	132,595	84,763
流動負債合計	415,661	418,179
固定負債		
長期借入金	143,324	124,988
預り保証金	342,620	392,503
退職給付に係る負債	4,800	5,100
資産除去債務	27,636	27,765
その他	3,106	2,544
固定負債合計	521,487	552,901
負債合計	937,148	971,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	416,599	418,195
資本剰余金	396,505	398,101
利益剰余金	217,657	376,567
自己株式	△80,212	△80,332
株主資本合計	950,549	1,112,532
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△263	753
その他の包括利益累計額合計	△263	753
新株予約権	3,203	6,888
純資産合計	953,489	1,120,174
負債純資産合計	1,890,638	2,091,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,774,688	2,328,270
売上原価	1,078,816	1,342,782
売上総利益	695,871	985,487
販売費及び一般管理費	651,383	731,743
営業利益	44,487	253,743
営業外収益		
その他	292	82
営業外収益合計	292	82
営業外費用		
支払利息	398	336
為替差損	—	591
その他	188	139
営業外費用合計	587	1,067
経常利益	44,193	252,758
税金等調整前四半期純利益	44,193	252,758
法人税、住民税及び事業税	24,646	96,854
法人税等調整額	△2,695	△3,006
法人税等合計	21,951	93,848
四半期純利益	22,241	158,910
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△1,087	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,329	158,910

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年10月 1 日 至 2021年 3 月31日)
四半期純利益	22,241	158,910
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	141	1,016
その他の包括利益合計	141	1,016
四半期包括利益	22,382	159,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,470	159,927
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,087	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 3 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年10月 1 日 至 2021年 3 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	44,193	252,758
減価償却費	15,754	19,289
のれん償却額	3,935	3,935
支払利息	398	336
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,340	△6,545
前払費用の増減額 (△は増加)	△27,038	△38,747
前受収益の増減額 (△は減少)	21,069	23,372
差入保証金の増減額 (△は増加)	△6,174	△5,811
預り保証金の増減額 (△は減少)	45,876	49,882
未払金の増減額 (△は減少)	△6,578	2,495
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,603	1,565
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,482	6,636
その他	29,171	△48,239
小計	117,352	260,929
利息及び配当金の受取額	20	9
利息の支払額	△398	△336
法人税等の支払額	△5,001	△79,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,972	181,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,678	△6,498
無形固定資産の取得による支出	△14,793	△28,914
その他	△5,018	△4,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,489	△39,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△17,048	△18,336
その他	△647	2,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,304	△15,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,183	126,837
現金及び現金同等物の期首残高	811,427	1,078,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	903,611	1,204,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは不透明であり、現段階においてその影響額を合理的に算定することは困難であります。国内でのワクチン接種が開始されるなど感染収束に向けた進展も見られることから、今後も一定程度の影響を受けるものの、緩やかに需要が回復し、当連結会計年度末にかけて収束していくとの会計上の見積りの仮定に前連結会計年度末からの重要な変更はなく、現状入手可能な情報により固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、当社グループが会計上の見積りに用いた仮定を上回る新型コロナウイルス感染症の長期化・深刻化があった場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休不動産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,738,898	35,789	1,774,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,738,898	35,789	1,774,688
セグメント利益又は損失(△)	53,889	△9,401	44,487

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休不動産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,270,203	58,066	2,328,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,270,203	58,066	2,328,270
セグメント利益又は損失(△)	259,184	△5,441	253,743

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。